

平成14年6月27日

## 平成14年8月期 第3四半期の業績の概況

上場会社名 株式会社 有線ブロードネットワークス

(コード番号：4842)

上場取引所(所属部) 大阪証券取引所(スタンダード部)

本社所在地 東京都千代田区永田町二丁目11番1号

問合せ先 責任者役職名 取締役副社長

氏名 加茂正治  
TEL (03) - 3509 - 7112

掲載単位：百万円（単位未満切捨て）

### 1. 業績

(1)平成14年8月期第3四半期（平成13年9月1日～平成14年5月31日）の業績

#### 連結

	14年8月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	13年8月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売 上 高	68,149	5.0	71,698	95,862
営 業 利 益	6,946	-	935	699
経 常 利 益	6,221	-	239	307

#### 単 体

	14年8月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	13年8月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売 上 高	74,984	1.8	73,665	99,173
営 業 利 益	967	-	2,416	3,127
経 常 利 益	97	94.8	1,863	2,602

(2)部門別売上高内訳（連結）

	14年8月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率	13年8月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
放 送 事 業	48,619	71.3	7.9	52,791	73.6	69,772	72.8
ブロードバンド事業	625	0.9	2,873.2	21	0.0	100	0.1
店 舗 事 業	9,333	13.7	0.5	9,384	13.1	12,610	13.2
カ ラ オ ケ 事 業	5,271	7.7	7.4	5,690	8.0	7,885	8.2
インターネット事業	3,781	5.5	17.8	3,210	4.5	4,638	4.8
そ の 他 事 業	517	0.8	13.7	599	0.8	854	0.9
合 計	68,149	100.0	5.0	71,698	100.0	95,862	100.0

## (3)主な資産・負債の変動について

## 連 結

項 目	14年8月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
( 資 産 )			
現 金 及 び 預 金	19,114	28,786	47,900
有 価 証 券	6,509	5,395	11,905
た な 卸 資 産	4,306	1,099	3,206
繰 延 税 金 資 産 ( 流 動 )	1,737	1,301	436
有 形 固 定 資 産	86,567	2,731	83,835
無 形 固 定 資 産	6,426	2,100	4,326
繰 延 税 金 資 産 ( 固 定 )	1,640	4,095	5,735
( 負 債 )			
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	6,498	1,100	5,398
設 備 等 支 払 手 形	4,487	4,487	-
短 期 借 入 金	2,330	3,153	5,483
1年以内返済予定長期借入金	23,376	2,406	20,970
長 期 借 入 金	49,358	5,244	54,602
長 期 未 払 金	13,356	4,840	18,196

## 単 体

項 目	14年8月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
( 資 産 )			
現 金 及 び 預 金	17,784	19,115	36,900
受 取 手 形	167	113	54
売 掛 金	6,451	2,035	4,415
有 価 証 券	6,499	5,405	11,905
た な 卸 資 産	4,253	1,046	3,206
繰 延 税 金 資 産 ( 流 動 )	1,737	1,301	436
構 築 物	13,545	5,806	19,352
無 形 固 定 資 産	5,167	1,455	3,712
関 係 会 社 株 式	19,662	2,173	17,488
繰 延 税 金 資 産 ( 固 定 )	1,640	4,095	5,735
( 負 債 )			
支 払 手 形	6,856	3,551	3,305
買 掛 金	2,298	699	1,598
短 期 借 入 金	2,330	3,093	5,423
1年以内返済予定長期借入金	23,376	2,421	20,954
長 期 借 入 金	49,358	5,184	54,543
長 期 未 払 金	13,356	4,840	18,196

注1：当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査は受けておりません。

2：金額に消費税等は含まれておりません。

## 2. 業績の概況

### (1) 当四半期の業績全般について

当第3四半期（自平成14年3月1日至平成14年5月31日）における、わが国経済の最近の動向を見ますと、個人消費はおおむね横ばいの状態が続いているものの、一部に底堅さもみられます。企業収益においても下げ止まり傾向となっており、景気全体の底入れ感がみられはじめました。しかしながら失業率は高水準で推移する等、雇用情勢は依然として厳しい状況を脱しておりません。

一方、情報通信分野におきましては、平成14年4月末の日本のインターネットサービス利用件数が8千万件を越え、高速で大容量の情報がやりとりできるブロードバンドサービスにおいては、DSL、CATV、FTTHいずれのサービスも順調に加入者が増えており、市場全体が拡大傾向にあります。ただ、FTTHサービスにおいてはサービス対象エリアが限られている事もあり、ブロードバンド市場全体から見た加入者数のシェアは、まだまだ低いといわざるを得ません。

このような状況の中、当社グループの第3四半期の連結業績は、売上高は681億4千9百万円（前年同四半期比5.0%減）、また、営業損失は69億4千6百万円、経常損失は62億2千1百万円となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

#### <放送事業>

放送事業の売上高は、486億1千9百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。平成10年以来、解約数が新設数を上回る状態が続いておりましたが、通信衛星による音楽配信サービス「SOUND PLANET」が好調だった結果、当第3四半期より減少傾向に歯止めがかかり、回復の兆しを見せております。今後は、不採算地域において同軸ケーブルを撤去し、CS（通信衛星）での配信に切り替える事で施設使用料の削減を図るプロジェクトを早期に推し進め、経営効率を高めてまいり所存です。

#### <ブロードバンド事業>

総務省の発表によると、ブロードバンドサービスは日本のインターネット接続サービスの内、全体の5%のシェアではありますが、確実に加入者を増やしている状況であります。特に光ファイバーによるFTTHサービスについては、利用件数そのものは全体で34,930件にとどまるものの、前月比32%増と、他のブロードバンドサービスに比べその伸び率は堅調に推移しております。当社の光ファイバーインターネット・サービスは、平成14年5月31日現在において、展開エリア数74ヶ所、契約者数18,985、取付数10,052となっており、当第3四半期の売上高は、6億2千5百万円（前年同四半期比2,873.2%増）となりました。今後、個人ユーザーにおいては、割引プラン等を活用し、新築・既設の集合住宅への導入を積極的に推し進めてまいります。また、法人ユーザーにおいては、ホスティングと呼ばれるサーバーの部分貸しサービスや、大容量のデータをインターネット上に保管するストレージと呼ばれるサービス、IP電話サービス等、多様なビジネスニーズにあわせた新サービスを提供してまいります。

#### <店舗事業>

当四半期末における店舗数は、直営カラオケボックス『ゆー坊』80店舗、『アフリカ』『コロナリアルリビング』等のレストラン系店舗が9店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が12店舗となっております。カラオケボックス業界全体として、消費者のライフスタイルの変化などを背景に、事業者間の業績格差が明瞭となっており、当社は、顧客ニーズに対応した店舗作りに努め、当四半期の売上高は、93億3千3百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。今後も業態変更による新店舗の出店や、ブロードバンドサービス等の他事業とのシナジーを活かす新しい形態やサービスを推進してまいります。

#### <カラオケ事業>

カラオケ事業の売上高は、52億7千1百万円（前年同四半期比7.4%減）となりました。業務用カラオケ市場においては、ナイト市場が縮小傾向にあります。平成14年3月から楽曲数も多く検索機能を充実させた通信カラオケの新機種「B-kara」の販売を開始したことで、デイ市場、ナイト市場を問わず、販売チャネルの再構築を実施し、更なる顧客拡大に努めております。

#### <インターネット事業>

インターネット事業は、単独事業部門として売上利益を上げるより、会社収益源として、より大切な放送事業の販売に貢献するという方向性で、事業の再構築を進めております。当四半期においては、クーポン情報検索サイトである『タウンピタ』をオープンし、業務店ユーザーの集客増に貢献するとともに消費者の利便性の向上を図っております。このような状況の中、インターネット事業の当四半期の売上高は、37億8千1百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

#### (2) 新規事業、新商品について

該当事項はありません。

#### (3) 営業所、店舗等の統廃合及び出退店の状況

##### <組織変更> 平成14年4月1日付

- ・ ブロードバンド 法人部を新設し、法人ユーザー向けのブロードバンド 営業企画、営業管理、販促企画、プロモーション、営業を担当
- ・ ブロードバンド マーケティング 部を廃止し、ブロードバンド 法人部とブロードバンド 事業統括部に統合
- ・ ネットワークソリューション部を廃止し、ブロードバンド 企画部に統合
- ・ HFC 事業部を新設し、HFC 通信事業を担当
- ・ デジタル化推進室を新設し、同軸からCS（通信衛星）への配信方法切替え及び外線撤去作業の管理を担当
- ・ 業務管理部を廃止

##### <店舗の変更> 平成14年5月1日付

- ・ ゆー坊つかしん店を閉店

#### (4) 試験研究活動の状況

##### <光ファイバー・同軸ハイブリッド（HFC）通信のフィールド実験に関して>

当社は、光ファイバー・同軸ケーブルを組み合わせた（HFC：Hybrid Fiber Coax）通信のフィールド実験を開始致しました。このフィールド実験は、当社が既に音楽放送用に全国に敷設している同軸ケーブルをアクセス網の一部として活用する際に必要な技術的、マーケティングの実証を行うためのものです。HFC通信は技術的に最大30Mbpsの高速通信が可能となっております。実験詳細は下記の通りです。

##### 【実験詳細】

- ・ 実験期間： 2002年6月1日～2002年8月31日
- ・ 実験対象エリア： 東京都世田谷区内一部地域
- ・ 実験対象者： 実験地域内のモニター参加希望者（USEN音楽放送の加入・未加入問わず）
- ・ 募集方法： 実験地域内にて、チラシ等での告知及びUSEN社員からの個別説明

#### (5) 新たに決定した重要な設備投資計画、事業提携又は提携の解消、合併や営業の譲渡

該当事項はありません。

【添付資料】

1. 四半期別連結売上高推移

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	自 平成13年 9月 1日 至 平成13年11月30日	自 平成13年12月 1日 至 平成14年 2月28日	自 平成14年 3月 1日 至 平成14年 5月31日
放 送 事 業	17,118	15,222	16,278
ブロードバンド事業	126	140	359
店 舗 事 業	2,864	3,367	3,101
カ ラ オ ケ 事 業	1,870	1,655	1,745
インターネット事業	1,289	1,279	1,212
そ の 他 事 業	158	172	186
合 計	23,428	21,838	22,883

2. 四半期別連結利益推移

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	自 平成13年 9月 1日 至 平成13年11月30日	自 平成13年12月 1日 至 平成14年 2月28日	自 平成14年 3月 1日 至 平成14年 5月31日
営 業 利 益	841	3,886	2,218
経 常 利 益	15	3,674	2,562